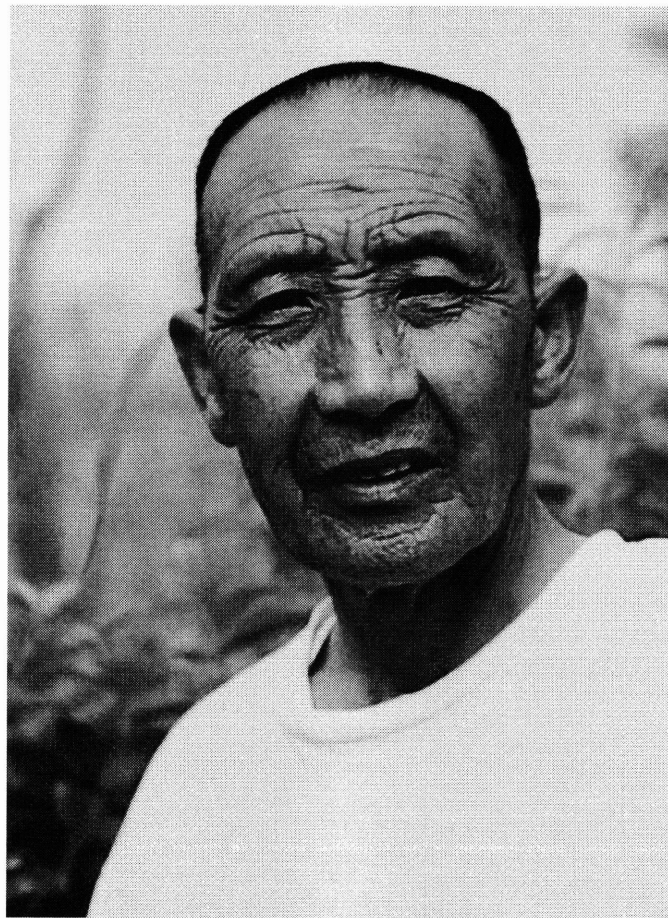


Hot Poem with the Cold Sun

—Dorjinima: A Mongol Poet and His Works in China—



Edited by
Yang Haiying

Shizuoka University
2007

目次

草原の反骨詩人ドルジニマ.....楊海英

作品目録(タイトルあるいは冒頭の句)

1. Berkesiyeltü Edür-üd-tü.....	24
2. Dayin-u Ayul.....	25
3. Sula Šilüg Gurban Qolboy-a.....	26
4. Ulaljın Ger Namur-un Salkın-dur Keyisügden Ebderegsen tuqai Dayulal.....	27
5. Šilüg Nökürlel.....	28
6. Šir-a Juu-yin Tuqai.....	28
7. Tal-a Nutuy taki Jirüken Ulayan Čičig.....	29
8. Qariyu Jakidaldu.....	30
9. Šilüg Nige, Šilüg Qoyar, Šilüg Gurba.....	30
10. Nigen Qubi Qariyu Jakidal.....	31
11. Eyimü Arban Jil.....	32
12. Temdeglel: 《ya》-yin Šiolüg-üd-eče.....	33
13. Qaramsal.....	34
14. Sayalı-yin Sü Sig Sedkel Mini-j-e.....	35
15. Mongyol Mori.....	36
16. Qayirtai.....	37
17. Yabudal Mör.....	37
18. Sula Šilüg Jijiged.....	38
19. Üdesilege-dü.....	40
20. Čičig ba Erbeki.....	41
21. Mongyol Mori.....	42
22. Gayıqaltai Niyuča ni Qamiy-a büi?.....	42
23. Merged-ün Üges-ün Degeji Deger-e Minu Nemerlekü Üge Nügüd.....	43
24. Edür-ün Temdeglel.....	44
25. Egüle.....	46
26. Šir-a Juu-yi Mörügedebe.....	47
27. Jalayu Nasu.....	49
28. Qayirtai.....	50
29. Kečigüü Jang.....	50

30. Manglai.....	50
31. Qayirlaltai Sayıqan Čoyča Bey-e Mini, Qaramsiltai Sayıqan Jalayu Nasu Mini.....	51
32. Boyda-yin Kürüg.....	53
33. Šilüg: Batayu Duu Duu.....	53
34. Jam-i Jiyayči Baysi, Jam-un qani Nöküd.....	55
35. Edür-ün Temdeglel.....	56
36. Silüg: Maryasi, Arad Tümen.....	59
37. Sanay-a-ban Uyayuluysan Suryayuli mini.....	60
38. Ketürebe.....	61
39. Ganbu Malčid-un Qural.....	61
40. İjirmeg-üd.....	62
41. Qulayayıči Qudalči nar-ud.....	63
42. Tedeger-üd-eče.....	64
43. Joyos.....	65
44. Suruyči-yin Ergüsen Qungday-a.....	66
45. Sula Silüg(nige).....	67
46. Sula Silüg(qoyar).....	68
47. Čiçig.....	70
48. Sula Silüg.....	71
49. Odo-yin Malay-a tan.....	72
50. Dörben Ularil.....	73
51. Kümün Boluysan-u Qubi-du.....	73
52. Kümün.....	73
53. Ebüge Činggis.....	74
54. Joyos ba Neyigem.....	75
55. Qur-a.....	76
56. Sedkel-i Ürüjü, Bey-e-yi Jüdken, Ed-i Qorumdayulju.....	77
57. Joriy Badaraysan Jiyučilalta.....	78
58. Altan Gandir.....	81
59. Eji Nutuy Qoyar Mini.....	83
60. Silüg.....	86
61. Bayaçud.....	87
62. Ayil ba Amidoral.....	88
63. Jarim ni.....	89
64. Yamar Siu Kümüs-i Sayin Kekü Büi?	90
65. Tngri Abu Amitan-i Tedgün-e.....	90

66. Minu Üge.....	91
67. Toyosutu Qoru-a-yin Ayasi Jang.....	91
68. Maryasi.....	92
69. Quus Uyangya.....	93
70. Sayali-yin Sayin-iyar Sü Faruyad Tosu Bolun-a.....	94
71. Öndürlejü Qaraydayad Bayiday.....	94
72. Toyuy-a Kömüregsen Sig Tngri-yin Dour-a.....	95
73. Qala Üjjjü Fasiyun-i edelebel, Qasar Bolju Qatayujin-a.....	95
74. Sisi Dayutai Fou Jing Šan.....	95
75. Jaliqai quduy ()-yi.....	96
76. Tangsuy Lam-a ba Bičin.....	97
77. Kejiy-e Qamiy-a ču Bol.....	98
78. Tamsiy-ud.....	99
79. Šajang-un Bordysan Adayusu.....	100
80. Dü Fū-yin Šilüg-üd-eče.....	101

草原の反骨詩人ドルジニマ

楊 海 英

—

1971年夏のある日。中国は文化大革命の真最中だった。小学校に入る前の私が一人で町の売店(供銷社)に足を踏み入れた瞬間、「出て行け。この悪い階級の犬コロ!」、と店主に怒鳴られた。私は頭から殴られたように怖くなり、店から逃げ出した。この一幕を苦々しくじっと見ていた人がいた。内モンゴル自治区オルドス地域の詩人ドルジニマ(Dirjinima, 71歳、扉写真)であった。

2003年7月26日。私はオルドス市西部のスウルデ・ソム(Sulde sumu)のシャルリク(Šarliq, Šir-a Elige)という町で詩人と再会した。私たちは一緒に文化大革命期(1966-76)のさまざまな出来事を振り返った。当時の我が家は、搾取階級の「牧主」(mal-un ejen)に分類されていたため、「貧牧」や「貧農」階級の人々から激しい批判闘争を受けていた。「悪い階級の犬コロ」とされた私は9歳になるまで学校に入れなかった。どこの学校も受け入れてくれなかったのである。このような現象を小学校の教師となっていた詩人ドルジニマも静かに傍観するしかなかった。「全人類の解放」を標榜していた共産党であるが、「搾取階級」とされた人々は、教育を受ける基本的な権利さえ剥奪されていたのである。

文化大革命中の内モンゴル自治区には約200万人弱のモンゴル族が居住していた。1930年代から民族の自立のために戦ってきたモンゴル族のエリートたちはほとんど例外なく「反国家的、分裂主義的な内モンゴル人民革命党成員」とされた。控えめな公式見解によると、34万6千人が冤罪を蒙り、1万6200人が殺害されたとされている(楊 1995:198)。モンゴル人の多くは文化大革命を通して、中国という国家の本質を理解したのである。

私が幼少のころから経験した文化大革命という特殊な社会主義時代を、詩人ドルジニマはさまざまな角度から描いてきた。その作品を読んで深い感銘を受けた私は、詩人の詩をより多くの人々に読んでもらおうと考えた。これらの作品に貫かれている精神は決して個別の人間の私的な体験に基づくものではない。モンゴル族が、民族として経験した、史上稀有な災難から得た教訓である。そのような貴重な経験を記録として残そうと、私は詩人の作品80首を世に公開することにしたのである。

彼は1969年10月26日に「艱難な日々に」(Berkesiyeltü Edür-üd-tü, No.1)という詩を書いている。それには次のような内容がある。

Sinid-ün saran-u genel दौरа boduly-a bodun

新月の光の下で思いに浸り、

Sin-e kereg-üd tei kergin tululduqu-yi

「新生事物」といかに戦うかを

Sirege elgidüjü bičin bičigseger söni tüli

机に伏して考えているうちに夜が更け

Silyaran tulju önggeregekü-ber joriy siyudba:

試練に耐える決心を新たにする。

Öngeregsen kereg-eče suryamji düngnejü

「旧社会」から教訓を汲み取り

Ösiyeten tei tuluduysan teüke-yi temdeglejü

「階級の敵」と戦った歴史を書き記し、

Öber-ün kümün yayakiju tusalaysan-yi sanayačılan

「同志」がいかに協力したかを思い起こし

Öger-e eteged yayakiju qourlaysan-yi temdelen-e

「敵人」がどのように害をもたらしたかを記録する。

Simnüs-ün dotur-a qonuy edür önggergejü

「牛鬼蛇神」のあいだで昼夜を過ごし

Soliyatu mayayiyar bey-e jasan çay önggergen

癡狂したかのように振舞ってわが身を守る。

Sonin jigtei üjigdel-üd-i angqarun

未曾有の事件を目の当たりにし

Sinuqai čidkür-üd kergin yayakiqu-yi üjil-e

瘁猛な鬼怪どもの跳梁をこの目で見てきた。

中国共産党は1949年以前の時代を「旧社会」と断定し、それを徹底的に破壊した上で社会主義を建設しようとした。「階級の敵」とされて打倒された人々は「牛鬼蛇神」と呼ばれていた。易姓革命で王朝交替が激しい中国の漢人社会では人々も運動を容易に受け入れただろうが、昔から調和社会だった遊牧民のモンゴル人にとっては、とてもついていけない政治的な潮流であった。詩人もすべてのモンゴル人と同様に困惑した日々を送っていたことが読み取れよう。

二

詩人ドルジニマはトゥクチンという父系親族集団(Tuyčïn obuy)に属し、1950年以前はウーシン旗のチャハル・ハラーの牧民だった。このチャハル・ハラーの人々は17世紀前半、つまり満洲人の後金国が勃興し、モンゴルが没落していく転換期にモンゴル最後の大ハーン、リクダン・ハーンについてオールドスに移住してきた人たちの子孫である(楊 2004:178-196)。チャハル・ハラーの人たちはいわば、大ハーン直属の領民の後裔である。

詩人ドルジニマもモンゴル人として、往時の歴史を忘れることはなかった。1999年6月18日、自治区の首府フフホト市にいた彼は「祖先チンギス」(Ebüge Činggis, No.53)という詩を書き、次のように歴史を回顧している。

Ösiyeten mangyus simnüs-üd-i

仇敵の悪魔どもを

Ölmei dour-a-ban kesikigsen

御脚で踏み潰し

Oči badaraysan bilig-ün nidü-ber

ほまれを放つ知恵ある御眼にて

Orčilang delekei-yi barayalaysan

宇宙世界を治めた。

Körösütü delekei-yin qada čilayu-yi

地球上のありとあらゆる岩石を

Külüg-ün tayurai-bar ničilaysan

駿馬の鉄蹄で踏み潰し

Kümün arad-un manglai boluysan

あまねく人々の指導者となった

Küčürkeg boyda Činggis Qayan

偉大な統率力を持つチンギス・ハーン。

Ödütü sumun jebseg-iyer

羽ある弩弓にて

Orčilang delekei-yi dongsulyaysan

世の中を震撼させ

Ubvdis tu sidi-yin qubilyan

法の生まれ変わりとして

Olan ulus-ud-i dayayuluysan

行き渡る国々を支配に置いた(チンギス・ハーン)。

Delekei-dü aldartai Mongyol kümüs

世界にその名を知られるモンゴル人には

Tngri-yin jiyayan-u odutai

天の御加護がついている。

Tngrilig boyda Činggis Qayan

天の御子たるチンギス・ハーンには

Tarni-yin sidi amilal tai.

陀羅尼の神霊が宿っている。

1990年代の中国は経済重視の政策が実施され、人々は文化や歴史にもはや関心を示さなくなった。このような時期において、詩人は歴史を想起させる文を仕立て、過去を忘却しないよう、呼びかけている。

もう一つ、書いた年代を明示していない「アルタン・ガンダリ」(Altan Gandir, No.58)という詩がある。オールドスのアルタン・ガンダリという高地に置いてあるチンギス・ハーンの祭殿八白宮に対する尊崇の気持ち丁寧に綴っている。

Alay nidün degen baralaqu

まそいの眼に映る

Altan yandır

アルタン・ガンダリ。

Ayulyayçı ğigejin degen boduqu-du

鼓動する心に宿る

Altan yandır

アルタン・ガンダリ。

Ayalayu kögjim degen egesiglekü-dü

旋律ある楽器に響く

Altan yandır

アルタン・ガンダリ。

Arad-un dayuu dayan dayulaqu-du

民謡の歌詞になる

Altan yandır

アルタン・ガンダリ。

Quyur baribal Altan yandır ked

胡琴を奏する時はアルタン・ガンダリだよ、と

Abu mini künginegöldeg

父親は高らかに謳っていた。

Qungday-a ergübel Altan yandır ked

盃を捧げる時はアルタン・ガンダリだよ、と

Eji mini irügedeg

母親はいつも献上していた。

Qolbuy-a biçibel Altan yandır ked

詩文を綴るならばアルタン・ガンダリだよ、と

Aq-a mini maytaday

兄は常に称えていた。

Qorim nayir deger-e Altan yandır ked

宴の時もアルタン・ガンダリだよ、と

Nöküd mini dayulaçayan-a

友らはいつも歌っていた。

.....

Sayaličid-un sayuly-a tai sü-dü

乳製品作りの遊牧民の(白き)乳に

Degeji ni bayiday

(アルタン・ガンダリに)捧げる幸がある。

Sarayul tal-a-yin külüg-ün sürüg-tü

広漠に満ちる駿馬の群れに

Kesig ni bayiday

(アルタン・ガンダリに)差し上げる幸がある。

Say-a bum Mongyolčud-un jirüken-dü

百万十万のモンゴル人の心の中に

Sülde ni bayiday

心霊が宿る(アルタン・ガンダリ)の軍神がある。

.....

Ölügi sayıqan Öbür Mongyol-un

揺籃たる故郷内モンゴルの

Eligen deger-e

ふところの上に

Öngge gilbay-a-ban sačurayulun

光り輝いて

Bayiju

いる(アルタン・ガンダリ)。

Öger-e busud tegen ingkejü

異民族にこんなにも

Darulaqu-yi

惨く扱われるのを

Öčüken čü küliyekü ügüi

少しも認めないよう

Či temečin-e

あなた、(アルタン・ガンダリ)は戦う。

「異民族にこんなにも惨く扱われるのを」、誰が予想したのだろうか、これは詩人の素直な気持ちの表れであろう。ある一つの民族が異なる国家に分断されるのは、ほかにも例がある。しかし、「内モンゴル人民

革命党」事件のように、民族のエリートが根こそぎ粛清されるような政治運動は、中国の文化大革命を除いて類例はなかろう、と詩人が語っていた。

三

ドルジニマが小さかったころ、その一家はウーシン旗西部のボロクデー(Boru Ködege)という地に住んでいた。ここはゲシクバト(Kesigbatu, 1849-1917)やアムルジャラガル(Amurjiryal, 1870-1941)など著名な詩人を輩出した場所である。

ドルジニマが8歳だった1943年に、ソホル・パトサン(Soqor Batusang)、つまり「眼の不自由なパトサン」というオジがトリというところから彼の一家を頼って近所に移ってきた。子どものドルジニマはソホル・パトサンの「眼」となった。パトサンは「語り部」(üligerçi)として知られていた人物である。色々な人に招かれて昔話や叙事詩を語る時、ドルジニマはずっと付き添っていた。彼はオジの語りをほとんどすべて覚えるようになった。のちに詩を書くようになったのも、このオジの影響が大きかった、と詩人は認めている。詩の一部は本書に収めているが、物語や昔話類は、将来、別の機会に公表する予定である。

かつて、著名な詩人ゲシクバトには次のような詩文があった(Qasbiligtu 1986 :97)。

……

Ügüi ügüi kemedegçi üneger mergen jang

「ない」、「ない」と言い張るのは確かに賢い習性だ

Üjen qaran samayuraday yayça çinu jang

見るみるうちに(人々を)離間させるのも、お前の習性だ

Üdesi orui jabsar yarbäl jolbingdaday jang

夜な夜な(女を追って)悪事を働くのは悪い習性だ

Ügen degen kürdeg ügüi tere mayuqai jang

云ったことを守らないのも悪い習性だ。

……

詩人ドルジニマが1985年10月24日に書いた「無題詩 — 四つの悪い性格」(Sula Šilüg Jijiged – Dörben Mayuqai Jang, No.18)には次のような字句がある。

Qongginaqu ni qoyusun mayuqai jang

調子に乗りすぎて弾むのは何の役にも立たない悪い習性だ

Qobduylaqu ni sinuqai mayuqai jang

狡賢く振舞うのもせこい、悪い習性だ

Qoblaqu ni jisür mayuqai jang

食欲は陰湿な悪い習性だ

Qoyurdaqu šaliy mayuqai jang

何でもほしがるともまた軽薄な悪い習性だ。

最後はいずれも「悪い習性だ」、という一句で締め括っているのは、大詩人ゲシクバトの伝統を生かしているといえよう。

四

オルドス地域の西部は中国共産党の根拠地延安に近かったため、早くから同党の干渉と支配を受けていた。共産党の活動を制限しようと中華民国側も厳しい包囲網を敷いていたことから、板ばさみ状態にあったオルドス・モンゴル族の多くは貧困の道をたどった。詩人ドルジニマー一家もこうした時期に極貧となり、物乞いに転落した。彼が11歳、1946年のことだった。日中戦争も終了し、中国共産党は全面的内戦に突入しようとしていた時期である。

やがて、中華民国の国民党は破れ、台湾へと去っていった。全国人民を「帝国主義と封建主義の圧制から解放」した共産党はあらゆる国民に自らを「救いの星」と称えるよう強制した。しかし、建国後まもない1958年からの人民公社の設立と1966年からの文化大革命など、政治運動が発動されるたびに、無数の国民の死亡がもたらされた。1970年代前半、20年間の社会主義を経験した詩人は「無題三首」(Sula Šilüg Turban Qolboy-a, No.3)という詩を書いている。それには次のようにある。

“Amidu burqan” keju çay imayta süsüglegsen çü

「活き仏」だと、ずっと敬ってきたけれど

Ami bey-e mini sönüjü dayusqu siqaluy-a

命と体が消滅されそうになった。

“Aburayçi odun” keju örlüğe üdesi sitügsençü

「救いの星」だと、朝にも晩にも崇拜してきたけれど

Ayıl erüke mini busniju sarniju oyirtuly-a

家も壊され、家族も散り散りになった。

Süsüglejü sitügsen mini yambar tusa

信仰し、崇拜したにもかかわらず何の役に立ったのか

Sür üjigülün tamu üjigülkü-yi ken sanaluy-a

かえって威圧され、虐待されるのを誰が想像したか?

Sü siy çayan sedkelten Mongyolçud-i

乳の如き純白なモンゴル人たちを

Sürüg-iyer tonilyaqu ni kejiy-e yaruluy-a

民族ごと抹消しようと、史上にあったことか?

.....

Qayas tutayu toyuluysan

半端に綴る

Mongyol-un qayan-u çadig-i

大ハーンのモンゴルの歴史を
Qamiy-a-ača kejiy-e olju
いずこから、いつから
Sudulaqu-yi bi ülü medemüi
学ぶべきかを私は分からない。

Qamtu nayiji-yin siduryu sedkel ba
同志の実直な思いと
Ünen demjilge-dü
真摯な支えに
Qalayun sedkel-eče ba küsejü
私は熱い心を沸騰させ
Ünen sanaya-ača yumudamui
真心から悲しんでいる。

歴史的にずっと政争と戦乱に明け暮れていた中国の漢人たちに比べると、モンゴル人は確かに不器用で、「乳の如き純白」だった、と詩人は理解している。「十七年教育」という言葉があるが、これは1949年の中華人民共和国成立期から1966年の文化大革命発動までの、社会主義思想教育を指す。この十七年間にわたる洗脳の結果、モンゴル人も個人崇拜の隊伍に加えられた。朝に晩に「偉大な領袖、救いの星たる毛沢東」の偶像に思想を報告し、指示を乞うように行動していた。民族独自の歴史を子どもたちに教える権利も奪われたことに、詩人は教師として、強い危機感を抱いてきたのである。

五

文化大革命中、「偉大な領袖」毛沢東は次から次へと側近たちを粛清していった。最後には「八億の人民の中から選び出された後継者」林彪も危機感を抱くようになり、飛行機で外国逃亡を図った。しかし、不運の林彪の夢もモンゴル人民共和国の上空に散ったとされている。1972年9月13日のことである。中国の人たちはこのような大事件を軽々しく「九・一三事件」と表現する。いかにも政治闘争に慣れた民族らしい言い回しだ。

林彪事件の後、中国とくに北部中国の内モンゴル自治区はソ連の進攻を受けるのではないかという恐怖に包まれていた。軍隊だけでなく、予備役もすべて動員されていた。こうした緊張の中、1973年1月10日、詩人は「戦火の危険」(Dayin-u Ayul, No.2)という詩を書き残している。そこには以下のような危惧が現れている。

Oyturayui-dur tngri-yin utay-a ebgürüldün bosbasu
空に天高く濃煙が巻き上がり
Ayula tal-a. youl. mören-e üküdel kegür dügürün-e

山野と河川は屍で満ちる。

Uruy amaray sadun törül ündüsü tasuran sarniju

恋人同士が別れ、家族が離散し、

Egüde yolumta-yi sakın jalıyamjilaqu kümün ügüi

家の命脈を守る者もなくなる。

.....

Tngri-yi nuryan yajar-i balbaçaqu-yi bidan küsedeg ügüi

蒼天を壊し、大地を切り拓くのを我々は望まない

Delekei dayayar niytaran bölkümdekü-yi bidan küsedeg

この世に生きる者すべての仲良く暮らすのを我々は望む。

Temecin dayilalduju jadaran sarnıqu-yi bidan küriyeldeg ügüi

戦って離散していくのを我々は望まない

Tebisiren bölkümdejü qamtubar uruysilaqu-yi bidan küriyelne.

寛容と平和に未来に向かうのを我々は望む。

詩人は若かったころに1940年代の動乱を経験しているので、そのような戦禍に再び巻き込まれるのではないかと心配している。北京の政治家同士の軋轢が庶民に与えた影響がいかに大きかったかを知る上で、重要な資料である。

六

すでに冒頭で触れたように、我が家のような搾取階級「牧主」身分の人たちは文化大革命中に例外なく「打倒」されていた。詩人ドルジニマは被搾取階級の「貧牧」の出身だったが、それでも彼は批判闘争から免れることはなかった。彼に冠された罪は、「反動的で、臭い知識人」だった。モンゴル語の古い写本やモンゴル人民共和国で出版された書物を大量に所有し、読んでいたのが罪証となったのである。

同じ社会主義国家であるとはいえ、中国はモンゴル人民共和国を「蒙修」すなわち「モンゴル修正主義国家」と呼んでいた。しかし、これはあくまでも建前であって、内モンゴル自治区のモンゴル人がモンゴル人民共和国に心が傾いているのではないかと疑っていたのが本音である。こうした背景のもと、彼も人民大衆による批判大会でつるし上げられるようになったのである。

1968年4月28日に受けた批判闘争を、詩人は1980年4月28日から5月15日にかけて、「日記」(Temdeglel)の形で振り返っている。その中には「凶暴と冤罪」(Kerčigeyilel ba Kilis, No.12)という一首がある。

Kürji sidam bariysan soliyai keletei kerčigeyiçüd

ショベルと棍棒を手にし、詭ったモンゴル語を話す凶暴な連中が

Güjir kelis kereg-i boyda qan üres-tü nömürgeged

冤罪と虐殺を聖なる大ハーンの子孫に働いた。

Kümün-ü bisi aduyusan-u küküji šalang kerglegteged

人間ではなく畜生どもが

Köke tngri-yin douraki amidu-yin tamu-yi üjigülbei

蒼天の下の衆生を虐待に虐待を重ねた。

Urangqai könjile egürjü morui tayay-ıyan çireldügsen

ぼろぼろのフトンを背負い、歪んだ杖を引きずった

Urdu jüg-ün yuqarayçid keju keçigü le nomuqan siy

南からの漢人どもは、(最初は)おとなしそうな顔をしてくる。

Uyuysan usun dayan sigijü uy-ıyan martaysan soliyayıçud a

(やがては)飲んだ水に小便をかけ、恩人に牙を向けるようになるものだ。

Udum törül-ıyen keçıyeju ujujur-un teüke-yi sanaydun

そのような歴史を忘れずに、民族と家族を守ろう。

文化大革命中にモンゴル人に迫害を加えたのは、その大半が漢人だったという証言がたくさんある。表向きは「階級闘争」を謳っているが、その実態は漢人がモンゴル人をリンチするような、「民族間闘争」の性格が強い。このような漢人のほとんどは1950年、すなわち「解放前」に内モンゴルに入殖してきた者である。貧乏な彼らは「ぼろぼろのフトンを背負い」、生活の戦略として「訛ったモンゴル語」を話し、「(最初は)おとなしそうな顔をして」いた、とモンゴル人側にはそのように見えていた。文化大革命の嵐が到来すると、状況は一変した。彼らはまるで復讐するかのように、「飲んだ水に小便をかけ、恩人に牙を向けるように」変ったのである。

あまりにも長く続いた災難を詩人は1980年11月26日に、次のように総括している。それは「かくのごとき十年」(Eyimü Arban Jil, No.11)という詩である。

Gerel ügü ilçi ügüi arban jil

光も温かみもない十年

Kereg ügüi tusa ügüi arban jil

無駄に浪費した十年。

Kerigül maryuyan kemjiye ügüi arban jil

内紛と内乱が絶えなかった十年

Kelis kereg tngri tuluysan arban jil

冤罪が世に溢れた十年

Aju üiledbürilel ebderegsen arban jil

なりわいが廃れた十年。

Asiy oruly-a qasuydaysan arban jil

収入も金もなかった十年

Amu buday-a quriyalta ügüi arban jil

穀物も食料もなかった十年

Arad irged yadayuruysan arban jil

民も百姓も飢えた十年

Bölkümdel ügüi qayaçılal-un arban jil

和陸がなく、敵対しあった十年

Bütegel ügüi ebdelge-yin arban jil

生産がなく、破壊を繰り返した十年

Bürlgejü süidkegdegsen arban jil

浪費しつくした十年

Busaniju samuyuraysan arban jil

まとまらずに乱れた十年。

Anggi bölüg qubiyaydaysan arban jil

階級と身分に分別された十年

Asiy olja buliyalduysan arban jil

既得利益を奪い合った十年

Alalduju tululduysan arban jil

殺し合いを繰り返した十年

Arasu miq-a silburuysan arban jil

心身ともに残忍を嘗めさせられた十年。

Suruly-a ügüi keçiyel ügüi arban jil

授業もなく勉強もない十年

Sudulul ügüi keçiyel ügüi arban jil

研究もなく教育もない十年

Suyul ügüi soqur balai arban jil

文化もなく文盲続出の十年

Surtal ügüi mural ügüi arban jil

教養もなくモラルもない十年。

文化大革命の十年間に対する、一モンゴル人の素直な心情の表れであろう。中国共産党も表向きは文化大革命を否定する見解を1980年代に発表しているが、どこに原因があり、本質は何だったのかなどについ

ては、きちんと清算していない、と大半の中国国民はそう理解している。2006年は文化大革命が発動された40周年にあたるが、過去に関する言論を厳しく統制していることも、その一端の表れである。

七

内モンゴル自治区の中で、もっとも早くから中国共産党の過酷な支配を経験してきたとはいえ、オルドス地域の西部には1980年代後半までは「モンゴルらしき文化」がまだ色濃く残っていた。沙漠化した草原にはちらほらと家畜の影が見られ、道を行く人たちもモンゴル語で会話していた。ドルジニマもモンゴルのすべての詩人と同じように、彼もモンゴル人が愛してやまない存在、馬に注目し、文墨を惜しまなかった。1987年5月、彼はモンゴルの馬を賞賛した詩(No.15,21)を書いている。

Čoy sülde badarangyui

威風堂々たる

Čoyča sayıqan bey-e tei

すらりとした体格をもつ(モンゴル馬)。

Čučaran sačuraysan gerel tei

放射される太陽の光のごとく艶をもち

Čolmun quus nidütei

金星の如き両目を有する(モンゴル馬)。

Ejin tngri-yin unay-a kejü

聖なる蒼天から生まれた駿馬、という

Ergümjilegsen čola tai

轟きの称号をもつ(モンゴル馬)。

Ejin sürüg tegen ibegel tei

自らの群れと故郷を愛し

Erdeni-yin külüg mori

玉宝の如き駿馬たる(モンゴル馬)。

……

Mongyol morin-u čidal

モンゴル馬の才能は

Muqusi ügüi yeke

尽きることなく無限だ。

Mori Mongyol qoyayula

モンゴル馬とモンゴル人は、

Salusi ügüi niyta

離れられない存在だ。

詩人が賞賛する「モンゴル馬」は、いまやオルドス西部の草原から完全に姿を消そうとしている(楊 2001)。「モンゴルらしき」文化が消えつつあることを、民族の存亡に関わる重大事である、と詩人は理解している。

八

モンゴルのほかのところと同じように、オルドス地域にもたくさんの寺院が草原に建っていた。信心深いモンゴル人は寺に参拝し、僧侶らの読経に耳を傾けていた。寺院には医術の優れた僧もおり、病院のような機能も果たしていた。寺院は草原の「文化センター」兼病院だったのである。オルドスのウーシン旗には「シャラ・ジョー」こと瑞雲寺という有名な寺があった。かつて著名な詩人ゲシクバトもシャラ・ジョーを謳歌した詩を残している(楊 2002:56-59)。シャラ・ジョーは文化大革命中に破壊された。

1987年9月、研修のついでにシャラ・ジョーを訪れた時、その無残な遺跡を見た詩人は「シャラ・ジョー寺の回想」(Sir'a Juu-yi Mörügedebe, No.6,26)という詩を書き残している。

Šar'a Elige

シャル・エリゲ(シャルリク)という地は

Šabay qaryan'a tai

シャバクとハラガナクが生い茂る

Sayiqan sili yajar a!

美しい草原だ。

Šar'a Juu

シャラ・ジョーという寺も

Šar'a deber tai

黄色い屋根に覆われた

Sayiqan barily'a a!

美しい建物だった。

Šar'a qar'a

僧俗ともに

Sitüjü mörgügsen

敬い、参った

Sayiqan süm'e

美しい寺だった。

Šar-a Juu

(その)シャラ・ジョーが

Sarniju butaral-a

壊されてなくなった。

Sayıqan barily-a odu alay-a

美しい伽藍も今や廃墟になった。

Bayibal odu

もしも、(シャラ・ジョーが)残っていたら

Ilegüdekü ügüi

決して余分な存在ではなからう。

Sayıqan barily-a

やはり、美しいままの姿でいただろう。

Bidan-u

我々の

Qoyıcı-du

子孫たちに

Dursqal bolunam

形見となりえた(シャラ・ジョー)

Šar-a-yin šasin

黄色い宗教たる佛教が

Kereg ügüi ču

役に立たなくとも

Šar-a Juu ni kereg tei

黄色い寺たるシャラ・ジョーは役に立つ

Šabarang lam-a nar

僧侶どもが

Tusa ügüi ču

役に立たなくとも

Šabar burqan ni üjimji bolqu yum.....

泥でつくった塑像が景観となれたはずだ。

この詩は極めて素朴な言葉で以て豪華絢爛だった寺院の過去の栄光をみごとに活写している。「宗教は人

民を毒するアヘン」と見る中国共産党は決してその存続を許さなかった。現在、文物修復の名目で各地の寺院が建て直されて観光の資源として利用されているが、詩人にはそのような利益を目当てにした考えもなく、ただ「景観となれば」、と願っているようだ。

九

1990年9月5日に、詩人は長年勤めていたウーシン旗のチャムホク小学校の教師を引退した。その時に書いた「心残りの学校」(Sanay-a-ban Uyayuluysan Suryayuli mini, No.37)詩には、長年、心血を注いだ学校に対する深い愛情が滲み出ている。

Saluyad yabul-a suryayuli mini

離れて行くことになった、わが学校

Sanay-a mini uyayatai orkiydal-a siu

思い切れずにいるよ。

Salul ügüi sayubal bolumar bayin-a

離れずにずっと傍にいたい

Sanay-a-bar yayakiju bolun-a büi.

思う通りにはならないね。

Uyayatai sedkel mini tende büi

心に残る思いは学校にあり、

Edür tegan čim-a-yi tursiday

毎日お前を実験してきた。

Udayan sayuysan tula

長い歳月を重ね

Untaqu bolyan-du jigüdelen-e.

今でも夜な夜な夢に現れる学校だ。

.....

Ügüi-eče büi boluysan suryayuli yum da

何も無いところから始まった学校だ

Üjiku tutum bayasday yum da

見るたびに嬉しくなる学校だ。

Udayan jil ende sayuysan yum büi

長年つとめてきた学校だ

Üneger čü salju yadan-a da!

離れて行くのが辛い学校だ。

詩人は学校から離れたが、モンゴル族の教育に強い危機感を抱いている。モンゴル語で教育を受けた者は進学や就職などあらゆる面で不利な立場に立たされていることから、モンゴル語の学校に通う子どもも年々減少している。こうした状況において、モンゴル人はどう対処すべきかを詩人もまだ模索中である。

十

文化大革命のような過激な政治運動が去っていった後、冷酷な市場経済の時代が訪れた。人々は過去を清算しきれていない状況の中で、豊かになろうと我を忘れたかのように奔走しはじめた。「一部の人間は先に富めてもよい」、という邓小平らの政策がもたらしたのは共産党の幹部たちの腐敗と汚職である。このような新しい現象を詩人は困惑の目で見ている。

1992年10月の「泥棒と嘘つきたち」(Qulayayiči Qudalči nar-ud, No.41)という詩は次のようになっている。

Qulayayiči payiza tai

泥棒のマークがついたやつ

Qurmusta tngri poodan-a

帝釈天がお前を撃つよ。

Qudalči gūng ling tei

勤務年数をごまかしたやつ

Qauli-yin tngri nirgin-e.

(お前も)法網に落ちるよ。

Qoyar jayun tabi-yin

「二百五¹」と称される馬鹿

Qoyosun yabili liū yuvang čüi

頭が空っぽな「流光吹²」

Quyulai em-e

淫乱な女のような

Qoyar niyur-tu čüdkür

陰険な化け物め。

Miqan oyudan gedesü tei

出っ張った肉袋のような腹もち

Ma dai-yin daruy-a

アルペーウー
1 「二百五」とは、北部中国でよく使われる悪罵の一つだ。「命知らず」や「馬鹿」、「単純なやつ」などの意味が込められている。

リュウクワンチュイ
2 「流光吹」とは、中国の北でよく用いる悪罵の一つで、「法螺吹き」、「嘘つき」などの意味である。

(空っぽな)麻袋のような役人だ。

Miq-a tusun tonuyçi

肉と油の泥棒で

Moqur činu-a

食欲な狼だ。

.....

Ečiǵe tei kümüs bol

ててなしごでなければ

Erijü nada-ača asayu!

俺のところに聞きに来い。

Eriki šabay-un sigesü bol

灌木の茂みの中で漏らした精子で出来た私生児ならば

Ingkiged tanus tonilčay-a!

さっさと消えろ。

詩人は作品の中で北部中国の漢語方言の悪罵を活用しながら、政治闘争と利益獲得の両方をうまく運用できる共産党の幹部たちを描いている。

詩人の怒りは一首や二首では収まらなかった。1996年7月26日に書いた「今時の役人たち」(Odo-yin Maly-a tan, No.49)という詩は次のようになっている。

Markes, Lenin, Mau ze düng-ün

マルクス、レーニン、それに毛沢東の

Mayalal nutalal jöb bayin-a

予測と論考は正しいかもしれない。

Manduju bayuraqu qoyar-i

興隆と衰退の二つを

Masi jöb jüngnejei.

的確に推測したものだ。

Tulayayur kerbe quyurbal

大黒柱がもし折れたらば

Tulqu ejin ken büi!?

支える者は誰になる。

Tümen kerbe üimečibel

万人がもし騒ぎ出したら

Tobkinayulaqu kümün ken büi?

鎮める者は誰になる。

Usu kerbe uyaralabal

大河がもし氾濫したら

Jasaqu ejin ken büi?

堰きとめる者は誰だ。

Ayula kerbe ködelbel

大山がもし崩れたら

Toytayaqu kümün ken büi?

鎮定する者は誰だ。

Ünen mör-iyer ese jamnayči

人間の道を歩まぬ

Noyad egün-i čidaqu yuu?

役人どもにこのような能力があるか。

Ömügi noqai-yin bayasu

臭い犬どもの糞のように

Ünü-yin eljimeg-üd deyilekü yuu?

今時の腐った幹部たちにそれが出来るのか。

詩人は国家としての中国そのもののあり方を心配しているのではない。混乱の状況下において、マイノリティの人々がマジョリティよりも更にひどい生活を送っていることに不満を抱いている。ある無題の詩には次のようにある(No.74)。

Sisi dayu tai Gou Jing Šan

女々しい声を出す高錦山

Sirbayanaqu ni ketüreged

のさばるのも度を過ぎている。

Šilja boluysan mingyalang-un gedsün deger-e

ダニのように女の腹の上に

Šigidüjü ükügsen ni ünendei

へばり付いているのも真だ。

Foridal ni ketüregsen Gou Fū Seng

食欲もほどほどにならない高富生³

³ ここではあくまでも当て字として高錦山、高富生と表記したに過ぎない。

Γojunlaqu ni ketürejäü bayin-a

横柄に振舞うのも真だ。

詩人のこれらの作品は人口に膾炙し、大勢の幹部たちの怒りをかったという。中にはこうした詩文を書き写して、幹部たちの邸宅の玄関に貼りつけたという人もいるそうだ。

別の「お椀から飼料を食らう畜生ども」(Šajang-un Borduysan Aduyusu, No.79)という詩は以下のようになっている。

Šaliy em-e-eče törügsen

淫らな女から生まれた子に

Sayin üres čöken

良い者は少ない。

Šabay-ača tegügsen mögü-dü

灌木(シャバク)から拾った茸に

Sayin amta alay-a

美味しい物は少ない。

Qaryan-a-ača oluysan küü

茂みの中から拾った私生児は

Qar-a qour-a tai

毒毒しい。

Qabiduysan yajar-iyar

歩いた先々で

Qar-a kiju yabuday

悪を働いて回る。

Jabaqai sanaya tai

陰湿な心もち

Jaqa-yin kümün-ü düri tei

漢土の連中のような顔つきをもつ。

Jalaju oluysan ečige ügüi

てておや知らずめ

Jam-un Kitad-un sigesü

ならず者漢人の種だ。

内モンゴル自治区のような少数民族地域においては、「少数民族出身者」を優先的に行政や企業に登用す

る、という政策がある。しかし、実際は人口の面で圧倒的に大多数を占める漢人の幹部たちが実権を握っている。詩人も決して安易に漢人を嫌う軽薄な民族主義者ではなく、大民族であるがゆえに、マイノリティの痛みが分からない「ならずもの漢人」たちを批判しているに過ぎない。

十一

現在、詩人ドルジニマはウーシン旗西部の小さな町でひっそりと家族らと暮らしている。詩人の自宅には詩文を愛するモンゴル人たちが頻繁に訪れて、天下の情勢について語り合っている。人間として、モンゴル人としてどうあるべきか、どのような道を歩んでいくべきか、とても哲学的な論壇が展開されている。まわりのモンゴル人たちは詩人ドルジニマの存在を高く評価しているし、彼も自分の作品が民間に広く伝わっていることを誇りに思っている。1997年5月、彼は「人間」(Kümün, No.52)という詩を書き、そこに次のような内容がある。

Mongyol kümün mökedeg ügüi

モンゴル人は滅ぶことのない

Möngke nasutai ündüsüten

永久なる民族だ。

Mayuu yaru keged ügüi

悪いことをしない

Mönggün čayan sedkel tei

純白な心をもつ民族だ。

Ulus ger tegan jidkül tei

仲間と家族を愛し

Uy-ača jirumtai ündüsüten

生まれつき礼儀正しい民族だ。

Unaysan sirui dayan qayiratai

故郷草原を愛し

Üneger yosutai ündüsüten

真に礼節を守る民族だ。

「モンゴル族は滅ばない」、という信念が草原の人々に共有されていることを詩人は大きな名誉だと理解している。詩人の作品はそのままの形では現在の中国では発表できないのを詩人自身も分かっている。これからは詩の内容だけでなく、詩内の独特な言語学的な表現や、オルドス・モンゴル語特有の語彙なども研究されることを詩人は願っている。

参考文献

楊海英

- 1995 「内モンゴル人民革命党」 『世界民族問題事典』(梅棹忠夫監修 松原正毅編集) 平凡社。
- 2001 『草原と馬とモンゴル人』 日本放送出版協会。
- 2002 『オルドス・モンゴル族オーノス氏の写本コレクション』 国立民族学博物館・地域研究企画交流センター。
- 2004 『チンギス・ハーン祭祀一試みとしての歴史人類学的再構成』 風響社。
- 2005 『モンゴル草原の文人たち一 handwritten 本が語る民族誌』 平凡社。

Qasbiligtu(ed)

- 1986 *Kesibatu-yin Silüg üd. Ündüsüten-ü Keblel-ün Qoriy-a.*

Handwritten scribble

Handwritten scribble

Handwritten scribble

Handwritten scribble

Handwritten scribble

Handwritten scribble

Handwritten scribble

1973. 1. 10. 3. 2. 1. 10.

この頃、日本の政治の状況は、
自由民主党の長期政権が、
経済成長を遂げ、国際的地位を
確立した。しかし、国内では
公害問題や社会不安が深刻化
し、国民の支持を失いつつあ
る。この状況下で、自由民主
党は、自派系内での派閥争
いを激化させ、党内の分裂が
顕著となった。

この頃、日本の政治の状況は、
自由民主党の長期政権が、
経済成長を遂げ、国際的地位を
確立した。しかし、国内では
公害問題や社会不安が深刻化
し、国民の支持を失いつつあ
る。この状況下で、自由民主
党は、自派系内での派閥争
いを激化させ、党内の分裂が
顕著となった。

この頃、日本の政治の状況は、
自由民主党の長期政権が、
経済成長を遂げ、国際的地位を
確立した。しかし、国内では
公害問題や社会不安が深刻化
し、国民の支持を失いつつあ
る。この状況下で、自由民主
党は、自派系内での派閥争
いを激化させ、党内の分裂が
顕著となった。

この頃、日本の政治の状況は、
自由民主党の長期政権が、
経済成長を遂げ、国際的地位を
確立した。しかし、国内では
公害問題や社会不安が深刻化
し、国民の支持を失いつつあ
る。この状況下で、自由民主
党は、自派系内での派閥争
いを激化させ、党内の分裂が
顕著となった。

Handwritten text in Arabic script, likely a continuation of a letter or document. The text is dense and occupies the left side of the page.

Handwritten text in Arabic script, continuing the previous section. It includes several lines of cursive writing.

Handwritten text in Arabic script, continuing the previous section. The text is written in a clear, cursive hand.

Handwritten text in Arabic script, continuing the previous section. This block contains the final lines of text on the page, including a signature and a date.

1976.10
 1976.10
 1976.10

1976.10
 1976.10
 1976.10

1976.10
 1976.10
 1976.10

1976.10
 1976.10
 1976.10


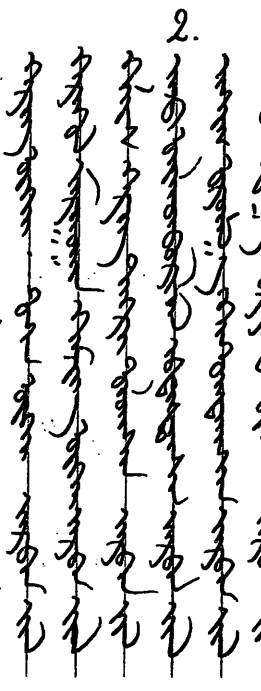

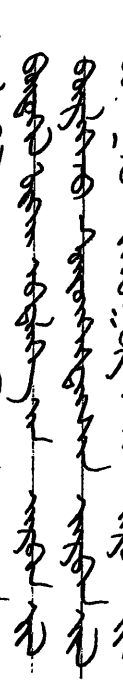
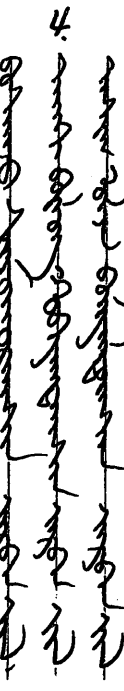
1976.10
 1976.10
 1976.10

人間の心は神の心と通ずるものなり
 神の心は愛の心なり 人の心は愛の心なり
 神の愛は無限なり 人の愛は有限なり
 神の愛は普遍的なり 人の愛は部分的なり
 神の愛は永続なり 人の愛は刹那なり
 神の愛は無条件なり 人の愛は条件あり
 神の愛は純粋なり 人の愛は混雑なり
 神の愛は平等なり 人の愛は不平等なり
 神の愛は寛大なり 人の愛は狭小なり
 神の愛は忍耐なり 人の愛は不耐なり
 神の愛は謙遜なり 人の愛は傲慢なり
 神の愛は純潔なり 人の愛は不潔なり
 神の愛は誠実なり 人の愛は虚偽なり
 神の愛は平和なり 人の愛は争闘なり
 神の愛は忍耐なり 人の愛は不耐なり
 神の愛は無条件なり 人の愛は条件あり
 神の愛は純粋なり 人の愛は混雑なり
 神の愛は平等なり 人の愛は不平等なり
 神の愛は寛大なり 人の愛は狭小なり
 神の愛は忍耐なり 人の愛は不耐なり
 神の愛は謙遜なり 人の愛は傲慢なり
 神の愛は純潔なり 人の愛は不潔なり
 神の愛は誠実なり 人の愛は虚偽なり
 神の愛は平和なり 人の愛は争闘なり

神の愛は無限なり 人の愛は有限なり
 神の愛は普遍的なり 人の愛は部分的なり
 神の愛は永続なり 人の愛は刹那なり
 神の愛は無条件なり 人の愛は条件あり
 神の愛は純粋なり 人の愛は混雑なり
 神の愛は平等なり 人の愛は不平等なり
 神の愛は寛大なり 人の愛は狭小なり
 神の愛は忍耐なり 人の愛は不耐なり
 神の愛は謙遜なり 人の愛は傲慢なり
 神の愛は純潔なり 人の愛は不潔なり
 神の愛は誠実なり 人の愛は虚偽なり
 神の愛は平和なり 人の愛は争闘なり
 神の愛は忍耐なり 人の愛は不耐なり
 神の愛は無条件なり 人の愛は条件あり
 神の愛は純粋なり 人の愛は混雑なり
 神の愛は平等なり 人の愛は不平等なり
 神の愛は寛大なり 人の愛は狭小なり
 神の愛は忍耐なり 人の愛は不耐なり
 神の愛は謙遜なり 人の愛は傲慢なり
 神の愛は純潔なり 人の愛は不潔なり
 神の愛は誠実なり 人の愛は虚偽なり
 神の愛は平和なり 人の愛は争闘なり

Handwritten text at the top right, possibly a name or title.

160021126/26

1. 
2. 
3. 
4. 
5. 

1000 1000 =

1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000

1000 1000 1000 1000

am Ende der ersten
Hälfte der zweiten
Hälfte der dritten
Hälfte der vierten
Hälfte der fünften
Hälfte der sechsten
Hälfte der siebten
Hälfte der achten
Hälfte der neunten
Hälfte der zehnten

am Ende der ersten
Hälfte der zweiten
Hälfte der dritten
Hälfte der vierten
Hälfte der fünften
Hälfte der sechsten
Hälfte der siebten
Hälfte der achten
Hälfte der neunten
Hälfte der zehnten

am Ende der ersten
Hälfte der zweiten
Hälfte der dritten
Hälfte der vierten
Hälfte der fünften
Hälfte der sechsten
Hälfte der siebten
Hälfte der achten
Hälfte der neunten
Hälfte der zehnten

and the other side is
the appearance of a
new kind of
the shape of
the body is a
the body is a
and the other side
of the body is a
the body is a

the body is a
the body is a
the body is a
the body is a
the body is a
the body is a
the body is a
the body is a

the body is a
the body is a

the body is a
the body is a

the body is a
the body is a

the body is a
the body is a

the body is a
the body is a

the body is a
the body is a

the body is a
the body is a

the body is a
the body is a

the body is a
the body is a

the body is a
the body is a

the body is a
the body is a

the body is a
the body is a

the body is a
the body is a

the body is a
the body is a

the body is a
the body is a

the body is a
the body is a

the body is a
the body is a

10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

1. *Handwritten notes in cursive script, starting with a large '1' and containing several lines of text.*
 2. *Handwritten notes in cursive script, starting with a large '2' and containing several lines of text.*

Handwritten notes in cursive script, starting with a large '3' and containing several lines of text.

3. *Handwritten notes in cursive script, starting with a large '3' and containing several lines of text.*
 4. *Handwritten notes in cursive script, starting with a large '4' and containing several lines of text.*

January 26.

1904

January 26

Dear Mr. [unclear] [unclear] [unclear]
 [unclear] [unclear] [unclear] [unclear]
 [unclear] [unclear] [unclear] [unclear]
 [unclear] [unclear] [unclear] [unclear]
 [unclear] [unclear] [unclear] [unclear]
 [unclear] [unclear] [unclear] [unclear]
 [unclear] [unclear] [unclear] [unclear]
 [unclear] [unclear] [unclear] [unclear]
 [unclear] [unclear] [unclear] [unclear]
 [unclear] [unclear] [unclear] [unclear]
 [unclear] [unclear] [unclear] [unclear]
 [unclear] [unclear] [unclear] [unclear]
 [unclear] [unclear] [unclear] [unclear]
 [unclear] [unclear] [unclear] [unclear]
 [unclear] [unclear] [unclear] [unclear]
 [unclear] [unclear] [unclear] [unclear]
 [unclear] [unclear] [unclear] [unclear]

Lehrer der alten Sprachen
der Universität
Angewandte Sprachenlehre
Kunst der deutschen Sprache
nach dem neuesten Stande
der Wissenschaft
von Dr. G. G. G.
Lehrer der deutschen Sprache
an der Universität
Lehrer der deutschen Sprache
an der Universität
Lehrer der deutschen Sprache
an der Universität

1. *... ..*
 2. *... ..*
 3. *... ..*
 4. *... ..*
 5. *... ..*
 6. *... ..*
 7. *... ..*
 8. *... ..*
 9. *... ..*
 10. *... ..*
 11. *... ..*
 12. *... ..*
 13. *... ..*
 14. *... ..*
 15. *... ..*
 16. *... ..*
 17. *... ..*
 18. *... ..*
 19. *... ..*
 20. *... ..*

21. *... ..*
 22. *... ..*
 23. *... ..*
 24. *... ..*
 25. *... ..*
 26. *... ..*
 27. *... ..*
 28. *... ..*
 29. *... ..*
 30. *... ..*
 31. *... ..*
 32. *... ..*
 33. *... ..*
 34. *... ..*
 35. *... ..*
 36. *... ..*
 37. *... ..*
 38. *... ..*
 39. *... ..*
 40. *... ..*

2.

~
~
~
~
~
~

~
~
~
~
~
~

~
~
~
~

~
~
~
~
~

~
~
~
~

~
~
~
~
~

~
~
~
~

~
~
~
~
~

1. ~
~
~
~

~
~
~
~

~
~
~
~
~

~
~
~
~
~

~
~
~
~
~

~
~
~
~
~

~
~
~
~

~
~
~
~
~

~
~
~
~

~
~
~
~

~
~
~

~
~
~

~
~
~

3 1 3 3

3 1 3 3

3 1 3 3

3 1 3 3

3 1 3 3

3 1 3 3

3 1 3 3

3 1 3 3

3 1 3 3

3 1 3 3

3 1 3 3

3 1 3 3

1000年

○
 1. 1000年
 ○
 2. 1000年

○
 3. 1000年

○
 4. 1000年

○
 5. 1000年

○
 6. 1000年

○
 7. 1000年

○
 8. 1000年

○
 9. 1000年

○
 10. 1000年

○
 11. 1000年

○
 12. 1000年

○
 13. 1000年

○
 14. 1000年

○
 15. 1000年

○
 16. 1000年

○
 17. 1000年

Das ist ein großer Fehler

im Anfang

und erst

die Grundlagen zu schaffen

im Anfang

und erst

die Grundlagen zu schaffen

im Anfang

und erst

und erst

die Grundlagen zu schaffen

im Anfang

und erst

die Grundlagen zu schaffen

und erst

die Grundlagen zu schaffen

im Anfang

und erst

die Grundlagen zu schaffen

im Anfang

und erst

die Grundlagen zu schaffen

im Anfang

und erst

die Grundlagen zu schaffen

im Anfang

und erst

1. *Handwritten text*

2. *Handwritten text*

3. *Handwritten text*

4. *Handwritten text*

5. *Handwritten text*

6. *Handwritten text*

7. *Handwritten text*

8. *Handwritten text*

9. *Handwritten text*

10. *Handwritten text*

11. *Handwritten text*

12. *Handwritten text*

13. *Handwritten text*

14. *Handwritten text*

15. *Handwritten text*

16. *Handwritten text*

17. *Handwritten text*

18. *Handwritten text*

19. *Handwritten text*

20. *Handwritten text*

21. *Handwritten text*

22. *Handwritten text*

23. *Handwritten text*

24. *Handwritten text*

25. *Handwritten text*

26. *Handwritten text*

27. *Handwritten text*

28. *Handwritten text*

10.
 - うきうき 浮きうき
 - うきうき 浮きうき
 - うきうき 浮きうき
 - うきうき 浮きうき
9.
 - うきうき 浮きうき
 - うきうき 浮きうき
 - うきうき 浮きうき
 - うきうき 浮きうき
8.
 - うきうき 浮きうき
 - うきうき 浮きうき
 - うきうき 浮きうき
 - うきうき 浮きうき

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

" 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

Handwritten text, possibly a signature or name.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

Handwritten text, possibly a name or title.

1. *Handwritten text*

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

2. *Handwritten text*

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

Handwritten text

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ
الحمد لله رب العالمين
والصلاة والسلام على
سيدنا محمد وآله الطيبين
الطاهرين

أشهد أن لا إله إلا الله
وأن محمداً عبده ورسوله
وأشهد أن سيدنا ونبينا
وولينا هو محمد بن عبد
الله

وأن أئمة الهدى من بعدي
عليهم السلام
وأشهد أن أئمة الهدى
عليهم السلام
والصلاة والسلام على
سيدنا محمد وآله الطيبين
الطاهرين

والصلاة والسلام على
سيدنا محمد وآله الطيبين
الطاهرين
والصلاة والسلام على
سيدنا محمد وآله الطيبين
الطاهرين

والصلاة والسلام على
سيدنا محمد وآله الطيبين
الطاهرين
والصلاة والسلام على
سيدنا محمد وآله الطيبين
الطاهرين

والصلاة والسلام على
سيدنا محمد وآله الطيبين
الطاهرين
والصلاة والسلام على
سيدنا محمد وآله الطيبين
الطاهرين

والصلاة والسلام على
سيدنا محمد وآله الطيبين
الطاهرين
والصلاة والسلام على
سيدنا محمد وآله الطيبين
الطاهرين

والصلاة والسلام على
سيدنا محمد وآله الطيبين
الطاهرين
والصلاة والسلام على
سيدنا محمد وآله الطيبين
الطاهرين

10. *Handwritten text in Arabic script, likely a list of names or titles.*

عبدالله بن محمد
 محمد بن عبد الله
 علي بن محمد
 محمد بن علي
 علي بن محمد
 محمد بن علي
 علي بن محمد
 محمد بن علي
 علي بن محمد
 محمد بن علي

12. *Handwritten text in Arabic script, likely a list of names or titles.*

عبدالله بن محمد
 محمد بن عبد الله
 علي بن محمد
 محمد بن علي
 علي بن محمد
 محمد بن علي
 علي بن محمد
 محمد بن علي
 علي بن محمد
 محمد بن علي

1. 1990年10月10日
 2. 1990年10月10日
 3. 1990年10月10日
 4. 1990年10月10日
 5. 1990年10月10日
 6. 1990年10月10日
 7. 1990年10月10日
 8. 1990年10月10日
 9. 1990年10月10日
 10. 1990年10月10日

11. 1990年10月10日
 12. 1990年10月10日
 13. 1990年10月10日
 14. 1990年10月10日
 15. 1990年10月10日
 16. 1990年10月10日
 17. 1990年10月10日
 18. 1990年10月10日
 19. 1990年10月10日
 20. 1990年10月10日
 21. 1990年10月10日
 22. 1990年10月10日
 23. 1990年10月10日
 24. 1990年10月10日
 25. 1990年10月10日

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

Handwritten text in Arabic script, likely a religious or philosophical passage.

1 10
 11 10
 12 10
 13 10
 14 10
 15 10
 16 10
 17 10
 18 10
 19 10
 20 10
 21 10
 22 10
 23 10
 24 10
 25 10
 26 10
 27 10
 28 10
 29 10
 30 10
 31 10
 32 10
 33 10
 34 10
 35 10
 36 10
 37 10
 38 10
 39 10
 40 10
 41 10
 42 10
 43 10
 44 10
 45 10
 46 10
 47 10
 48 10
 49 10
 50 10
 51 10
 52 10
 53 10
 54 10
 55 10
 56 10
 57 10
 58 10
 59 10
 60 10
 61 10
 62 10
 63 10
 64 10
 65 10
 66 10
 67 10
 68 10
 69 10
 70 10
 71 10
 72 10
 73 10
 74 10
 75 10
 76 10
 77 10
 78 10
 79 10
 80 10
 81 10
 82 10
 83 10
 84 10
 85 10
 86 10
 87 10
 88 10
 89 10
 90 10
 91 10
 92 10
 93 10
 94 10
 95 10
 96 10
 97 10
 98 10
 99 10
 100 10

5.
 1992.4

1 10
 2 10
 3 10
 4 10
 5 10
 6 10
 7 10
 8 10
 9 10
 10 10
 11 10
 12 10
 13 10
 14 10
 15 10
 16 10
 17 10
 18 10
 19 10
 20 10
 21 10
 22 10
 23 10
 24 10
 25 10
 26 10
 27 10
 28 10
 29 10
 30 10
 31 10
 32 10
 33 10
 34 10
 35 10
 36 10
 37 10
 38 10
 39 10
 40 10
 41 10
 42 10
 43 10
 44 10
 45 10
 46 10
 47 10
 48 10
 49 10
 50 10
 51 10
 52 10
 53 10
 54 10
 55 10
 56 10
 57 10
 58 10
 59 10
 60 10
 61 10
 62 10
 63 10
 64 10
 65 10
 66 10
 67 10
 68 10
 69 10
 70 10
 71 10
 72 10
 73 10
 74 10
 75 10
 76 10
 77 10
 78 10
 79 10
 80 10
 81 10
 82 10
 83 10
 84 10
 85 10
 86 10
 87 10
 88 10
 89 10
 90 10
 91 10
 92 10
 93 10
 94 10
 95 10
 96 10
 97 10
 98 10
 99 10
 100 10

1992.4.29

1992.4.29

おはようございます。おはようございます。

おはようございます。おはようございます。

おはようございます。おはようございます。

おはようございます。おはようございます。

おはようございます。おはようございます。

おはようございます。おはようございます。

おはようございます。おはようございます。

おはようございます。おはようございます。

おはようございます。

1. 1992年10月10日

2. 1992年10月10日

3. 1992年10月10日

4. 1992年10月10日

5. 1992年10月10日

6. 1992年10月10日

7. 1992年10月10日

8. 1992年10月10日

9. 1992年10月10日

10. 1992年10月10日

11. 1992年10月10日

12. 1992年10月10日

13. 1992年10月10日

14. 1992年10月10日

15. 1992年10月10日

16. 1992年10月10日

17. 1992年10月10日

18. 1992年10月10日

19. 1992年10月10日

20. 1992年10月10日

21. 1992年10月10日

22. 1992年10月10日

23. 1992年10月10日

24. 1992年10月10日

25. 1992年10月10日

26. 1992年10月10日

27. 1992年10月10日

28. 1992年10月10日

29. 1992年10月10日

1. $\frac{1}{x^2} = x^{-2}$
 $\frac{d}{dx} x^{-2} = -2x^{-3} = -\frac{2}{x^3}$
2. $\frac{d}{dx} x^3 = 3x^2$
 $\frac{d}{dx} x^4 = 4x^3$
 $\frac{d}{dx} x^5 = 5x^4$
3. $\frac{d}{dx} x^6 = 6x^5$
 $\frac{d}{dx} x^7 = 7x^6$
 $\frac{d}{dx} x^8 = 8x^7$
4. $\frac{d}{dx} x^9 = 9x^8$
 $\frac{d}{dx} x^{10} = 10x^9$
 $\frac{d}{dx} x^{11} = 11x^{10}$

5. $\frac{d}{dx} x^{12} = 12x^{11}$
 $\frac{d}{dx} x^{13} = 13x^{12}$
 $\frac{d}{dx} x^{14} = 14x^{13}$
6. $\frac{d}{dx} x^{15} = 15x^{14}$
 $\frac{d}{dx} x^{16} = 16x^{15}$
 $\frac{d}{dx} x^{17} = 17x^{16}$
7. $\frac{d}{dx} x^{18} = 18x^{17}$
 $\frac{d}{dx} x^{19} = 19x^{18}$
 $\frac{d}{dx} x^{20} = 20x^{19}$

1962年2月10日
1962年2月10日
1962年2月10日
1962年2月10日
1962年2月10日
1962年2月10日
1962年2月10日
1962年2月10日
1962年2月10日
1962年2月10日

1962年2月10日
1962年2月10日
1962年2月10日
1962年2月10日
1962年2月10日
1962年2月10日
1962年2月10日
1962年2月10日
1962年2月10日
1962年2月10日

1. 1992年10月1日
 2. 1992年10月1日
 3. 1992年10月1日
 4. 1992年10月1日
 5. 1992年10月1日
 6. 1992年10月1日
 7. 1992年10月1日
 8. 1992年10月1日
 9. 1992年10月1日
 10. 1992年10月1日
 11. 1992年10月1日
 12. 1992年10月1日
 13. 1992年10月1日
 14. 1992年10月1日
 15. 1992年10月1日
 16. 1992年10月1日
 17. 1992年10月1日
 18. 1992年10月1日
 19. 1992年10月1日
 20. 1992年10月1日
 21. 1992年10月1日
 22. 1992年10月1日
 23. 1992年10月1日
 24. 1992年10月1日
 25. 1992年10月1日
 26. 1992年10月1日
 27. 1992年10月1日
 28. 1992年10月1日
 29. 1992年10月1日
 30. 1992年10月1日
 31. 1992年10月1日
 32. 1992年10月1日
 33. 1992年10月1日
 34. 1992年10月1日
 35. 1992年10月1日
 36. 1992年10月1日
 37. 1992年10月1日
 38. 1992年10月1日
 39. 1992年10月1日
 40. 1992年10月1日
 41. 1992年10月1日
 42. 1992年10月1日
 43. 1992年10月1日
 44. 1992年10月1日
 45. 1992年10月1日
 46. 1992年10月1日
 47. 1992年10月1日
 48. 1992年10月1日
 49. 1992年10月1日
 50. 1992年10月1日
 51. 1992年10月1日
 52. 1992年10月1日
 53. 1992年10月1日
 54. 1992年10月1日
 55. 1992年10月1日
 56. 1992年10月1日
 57. 1992年10月1日
 58. 1992年10月1日
 59. 1992年10月1日
 60. 1992年10月1日
 61. 1992年10月1日
 62. 1992年10月1日
 63. 1992年10月1日
 64. 1992年10月1日
 65. 1992年10月1日
 66. 1992年10月1日
 67. 1992年10月1日
 68. 1992年10月1日
 69. 1992年10月1日
 70. 1992年10月1日
 71. 1992年10月1日
 72. 1992年10月1日
 73. 1992年10月1日
 74. 1992年10月1日
 75. 1992年10月1日
 76. 1992年10月1日
 77. 1992年10月1日
 78. 1992年10月1日
 79. 1992年10月1日
 80. 1992年10月1日
 81. 1992年10月1日
 82. 1992年10月1日
 83. 1992年10月1日
 84. 1992年10月1日
 85. 1992年10月1日
 86. 1992年10月1日
 87. 1992年10月1日
 88. 1992年10月1日
 89. 1992年10月1日
 90. 1992年10月1日
 91. 1992年10月1日
 92. 1992年10月1日
 93. 1992年10月1日
 94. 1992年10月1日
 95. 1992年10月1日
 96. 1992年10月1日
 97. 1992年10月1日
 98. 1992年10月1日
 99. 1992年10月1日
 100. 1992年10月1日

わが身をいかに守らばと
わが身をいかに守らばと
わが身をいかに守らばと
わが身をいかに守らばと
わが身をいかに守らばと
わが身をいかに守らばと
わが身をいかに守らばと
わが身をいかに守らばと
わが身をいかに守らばと
わが身をいかに守らばと

わが身をいかに守らばと
わが身をいかに守らばと
わが身をいかに守らばと
わが身をいかに守らばと
わが身をいかに守らばと
わが身をいかに守らばと
わが身をいかに守らばと
わが身をいかに守らばと
わが身をいかに守らばと
わが身をいかに守らばと

4. 2000年12月25日
2000年12月25日

2000年12月25日

3. 2000年12月25日

2000年12月25日

2. 2000年12月25日

2000年12月25日

2000年12月25日

2000年12月25日

2000年12月25日

2000年12月25日

2000年12月25日

2000年12月25日

2000年12月25日

2000年12月25日

2000年12月25日

2000年12月25日

2000年12月25日

2000年12月25日

2000年12月25日

2000年12月25日

2000年12月25日

2000年12月25日

2000年12月25日

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or notes.

تاریخ

در این کتاب، تاریخچه
توسعه و پیشرفت
کشور را در دوره
مدرسه و دانشگاه
مطرح کرده است.

این کتاب، تاریخچه
کشور را در دوره
مدرسه و دانشگاه
مطرح کرده است.
در این کتاب، تاریخچه
کشور را در دوره
مدرسه و دانشگاه
مطرح کرده است.

در این کتاب، تاریخچه
کشور را در دوره
مدرسه و دانشگاه
مطرح کرده است.
در این کتاب، تاریخچه
کشور را در دوره
مدرسه و دانشگاه
مطرح کرده است.

در این کتاب، تاریخچه
کشور را در دوره
مدرسه و دانشگاه
مطرح کرده است.
در این کتاب، تاریخچه
کشور را در دوره
مدرسه و دانشگاه
مطرح کرده است.

تاریخچه
کشور
در دوره
مدرسه و دانشگاه

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a name, located at the top right of the page.

24

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature or a name, located in the middle right of the page.

Main body of handwritten text in a cursive script, consisting of several lines of text, possibly a letter or a document, located in the center of the page.

بسم الله الرحمن الرحيم
الحمد لله رب العالمين
والصلاة والسلام على
سيدنا محمد وآله الطيبين
الطاهرين أجمعين
اللهم صل على
سيدنا محمد وعلى
آله وصحبه وسلم
كصليتك على
نبيك محمد وآله
وسلم حين بعثت
هم في هذه الدنيا
مبعوثين من عندك
فهم خير من كل
مبعوث بعثت في
الدين كله
اللهم صل على
سيدنا محمد وعلى
آله وصحبه وسلم
كصلى ربك على
إبراهيم وإسماعيل
حين باعهم
للناس فكانوا
محمدين
اللهم صل على
سيدنا محمد وعلى
آله وصحبه وسلم
كصلى ربك على
إبراهيم وإسماعيل
حين باعهم للناس
فكانوا محمدين
اللهم صل على
سيدنا محمد وعلى
آله وصحبه وسلم
كصلى ربك على
إبراهيم وإسماعيل
حين باعهم للناس
فكانوا محمدين

اللهم صل على سيدنا محمد
وعلى آله وصحبه وسلم
كصلى ربك على
إبراهيم وإسماعيل
حين باعهم للناس
فكانوا محمدين
اللهم صل على سيدنا محمد
وعلى آله وصحبه وسلم
كصلى ربك على
إبراهيم وإسماعيل
حين باعهم للناس
فكانوا محمدين
اللهم صل على سيدنا محمد
وعلى آله وصحبه وسلم
كصلى ربك على
إبراهيم وإسماعيل
حين باعهم للناس
فكانوا محمدين
اللهم صل على سيدنا محمد
وعلى آله وصحبه وسلم
كصلى ربك على
إبراهيم وإسماعيل
حين باعهم للناس
فكانوا محمدين
اللهم صل على سيدنا محمد
وعلى آله وصحبه وسلم
كصلى ربك على
إبراهيم وإسماعيل
حين باعهم للناس
فكانوا محمدين
اللهم صل على سيدنا محمد
وعلى آله وصحبه وسلم
كصلى ربك على
إبراهيم وإسماعيل
حين باعهم للناس
فكانوا محمدين
اللهم صل على سيدنا محمد
وعلى آله وصحبه وسلم
كصلى ربك على
إبراهيم وإسماعيل
حين باعهم للناس
فكانوا محمدين
اللهم صل على سيدنا محمد
وعلى آله وصحبه وسلم
كصلى ربك على
إبراهيم وإسماعيل
حين باعهم للناس
فكانوا محمدين
اللهم صل على سيدنا محمد
وعلى آله وصحبه وسلم
كصلى ربك على
إبراهيم وإسماعيل
حين باعهم للناس
فكانوا محمدين
اللهم صل على سيدنا محمد
وعلى آله وصحبه وسلم
كصلى ربك على
إبراهيم وإسماعيل
حين باعهم للناس
فكانوا محمدين

مجلسه اول
مجلسه دوم
مجلسه سوم
مجلسه چهارم
مجلسه پنجم
مجلسه ششم
مجلسه هفتم
مجلسه هشتم
مجلسه نهم
مجلسه دهم
مجلسه یازدهم
مجلسه دوازدهم
مجلسه سیزدهم
مجلسه چهاردهم
مجلسه پانزدهم
مجلسه شانزدهم
مجلسه هجدهم
مجلسه نوزدهم
مجلسه بیستم

(1999) و 2000
مجلسه اول
مجلسه دوم
مجلسه سوم
مجلسه چهارم
مجلسه پنجم
مجلسه ششم
مجلسه هفتم
مجلسه هشتم
مجلسه نهم
مجلسه دهم
مجلسه یازدهم
مجلسه دوازدهم
مجلسه سیزدهم
مجلسه چهاردهم
مجلسه پانزدهم
مجلسه شانزدهم
مجلسه هجدهم
مجلسه نوزدهم
مجلسه بیستم

وہو اور نہ تو۔ (ہو اور نہ تو) اور نہ تو
اور نہ تو۔ (ہو اور نہ تو) اور نہ تو
اور نہ تو۔ (ہو اور نہ تو) اور نہ تو
اور نہ تو۔ (ہو اور نہ تو) اور نہ تو
اور نہ تو۔ (ہو اور نہ تو) اور نہ تو
اور نہ تو۔ (ہو اور نہ تو) اور نہ تو
اور نہ تو۔ (ہو اور نہ تو) اور نہ تو
اور نہ تو۔ (ہو اور نہ تو) اور نہ تو

اور نہ تو۔ (ہو اور نہ تو) اور نہ تو
اور نہ تو۔ (ہو اور نہ تو) اور نہ تو
اور نہ تو۔ (ہو اور نہ تو) اور نہ تو
اور نہ تو۔ (ہو اور نہ تو) اور نہ تو
اور نہ تو۔ (ہو اور نہ تو) اور نہ تو
اور نہ تو۔ (ہو اور نہ تو) اور نہ تو
اور نہ تو۔ (ہو اور نہ تو) اور نہ تو
اور نہ تو۔ (ہو اور نہ تو) اور نہ تو

3.000
 3.000
 3.000
 3.000
 3.000
 3.000
 3.000
 3.000
 3.000
 3.000

1. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

2. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

3. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

4. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

5. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

6. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

7. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

8. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

9. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

10. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

11. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

12. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

13. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

14. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

15. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

16. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

17. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

18. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

19. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

20. ~~Die~~ ~~Wörter~~ ~~des~~ ~~Textes~~ ~~zu~~ ~~schreiben~~

Handwritten text in cursive, top line on the left side of the page.

Handwritten text in cursive, second line from top on the left side.

Handwritten text in cursive, third line from top on the left side.

Handwritten text in cursive, fourth line from top on the left side.

Handwritten text in cursive, fifth line from top on the left side.

Handwritten text in cursive, sixth line from top on the left side.

Handwritten text in cursive, seventh line from top on the left side.

Handwritten text in cursive, eighth line from top on the left side.

Handwritten text in cursive, ninth line from top on the left side.

Handwritten text in cursive, tenth line from top on the left side.

Handwritten text in cursive, eleventh line from top on the left side.

Handwritten text in cursive, twelfth line from top on the left side.

Handwritten text in cursive, thirteenth line from top on the left side.

Handwritten text in cursive, fourteenth line from top on the left side.

Handwritten text in cursive, fifteenth line from top on the left side.

Handwritten text in cursive, sixteenth line from top on the left side.

Handwritten text in cursive, top line on the right side of the page.

Handwritten text in cursive, second line from top on the right side.

Handwritten text in cursive, third line from top on the right side.

Handwritten text in cursive, fourth line from top on the right side.

Handwritten text in cursive, fifth line from top on the right side.

Handwritten text in cursive, sixth line from top on the right side.

Handwritten text in cursive, seventh line from top on the right side.

Handwritten text in cursive, eighth line from top on the right side.

Handwritten text in cursive, ninth line from top on the right side.

Handwritten text in cursive, tenth line from top on the right side.

Handwritten text in cursive, eleventh line from top on the right side.

Handwritten text in cursive, twelfth line from top on the right side.

Handwritten text in cursive, thirteenth line from top on the right side.

Handwritten text in cursive, fourteenth line from top on the right side.

Handwritten text in cursive, fifteenth line from top on the right side.

Handwritten text in cursive, sixteenth line from top on the right side.

Handwritten text on the top line of the first section.

Handwritten text on the second line of the first section.

Handwritten text on the third line of the first section.

Handwritten text on the fourth line of the first section.

Handwritten text on the fifth line of the first section.

Handwritten text on the sixth line of the first section.

Handwritten text on the seventh line of the first section.

10.

Handwritten text on the first line of the second section.

Handwritten text on the second line of the second section.

Handwritten text on the third line of the second section.

Handwritten text on the fourth line of the second section.

Handwritten text on the fifth line of the second section.

Handwritten text on the sixth line of the second section.

Handwritten text on the seventh line of the second section.

Handwritten text on the eighth line of the second section.

9.

Handwritten text on the first line of the third section.

11.

Handwritten text on the first line of the fourth section.

Handwritten text on the second line of the fourth section.

Handwritten text on the third line of the fourth section.

Handwritten text on the fourth line of the fourth section.

Handwritten text on the fifth line of the fourth section.

Handwritten text on the sixth line of the fourth section.

Handwritten text on the seventh line of the fourth section.

Handwritten text on the eighth line of the fourth section.

1. *Ammonium Chloride*
 - Ammonium Chloride* is a white crystalline solid.
 - It is soluble in water and alcohol.
 - It is used in the manufacture of dyes and pigments.
 - It is also used in the treatment of urinary tract infections.
2. *Ammonium Sulfate*
 - Ammonium Sulfate* is a white crystalline solid.
 - It is soluble in water and alcohol.
 - It is used in the manufacture of fertilizers and explosives.
 - It is also used in the treatment of urinary tract infections.
3. *Ammonium Nitrate*
 - Ammonium Nitrate* is a white crystalline solid.
 - It is soluble in water and alcohol.
 - It is used in the manufacture of fertilizers and explosives.
 - It is also used in the treatment of urinary tract infections.
4. *Ammonium Phosphate*
 - Ammonium Phosphate* is a white crystalline solid.
 - It is soluble in water and alcohol.
 - It is used in the manufacture of fertilizers and explosives.
 - It is also used in the treatment of urinary tract infections.
5. *Ammonium Bicarbonate*
 - Ammonium Bicarbonate* is a white crystalline solid.
 - It is soluble in water and alcohol.
 - It is used in the manufacture of fertilizers and explosives.
 - It is also used in the treatment of urinary tract infections.

6. $\frac{1}{x} \frac{d}{dx} (x^2 \sin x)$

$\frac{1}{x} [2x \sin x + x^2 \cos x]$

$2 \sin x + x \cos x$

7.

$\frac{d}{dx} (x^3 \sin x)$

$3x^2 \sin x + x^3 \cos x$

8

$\frac{d}{dx} (x^4 \cos x)$

$4x^3 \cos x - x^4 \sin x$

9.

$\frac{d}{dx} (x^5 \sin x)$

$5x^4 \sin x + x^5 \cos x$

10.

$\frac{d}{dx} (x^6 \cos x)$

$6x^5 \cos x - x^6 \sin x$

11.

$\frac{d}{dx} (x^7 \sin x)$

$7x^6 \sin x + x^7 \cos x$

12
 1. $\frac{1}{x^2} = x^{-2}$
 $\frac{d}{dx} x^{-2} = -2x^{-3}$
 $= -\frac{2}{x^3}$

13
 1. $\frac{d}{dx} \sin^{-1} x = \frac{1}{\sqrt{1-x^2}}$
 $\frac{d}{dx} \cos^{-1} x = -\frac{1}{\sqrt{1-x^2}}$

14
 1. $\frac{d}{dx} \tan^{-1} x = \frac{1}{1+x^2}$
 $\frac{d}{dx} \cot^{-1} x = -\frac{1}{1+x^2}$
 $\frac{d}{dx} \sec^{-1} x = \frac{1}{x\sqrt{x^2-1}}$
 $\frac{d}{dx} \csc^{-1} x = -\frac{1}{x\sqrt{x^2-1}}$

15
 1. $\frac{d}{dx} \sin^{-1} \frac{x}{a} = \frac{1}{\sqrt{a^2-x^2}}$
 $\frac{d}{dx} \cos^{-1} \frac{x}{a} = -\frac{1}{\sqrt{a^2-x^2}}$
 $\frac{d}{dx} \tan^{-1} \frac{x}{a} = \frac{1}{a^2+x^2}$
 $\frac{d}{dx} \cot^{-1} \frac{x}{a} = -\frac{1}{a^2+x^2}$

16
 1. $\frac{d}{dx} \sin^{-1} \frac{x}{a} = \frac{1}{\sqrt{a^2-x^2}}$
 $\frac{d}{dx} \cos^{-1} \frac{x}{a} = -\frac{1}{\sqrt{a^2-x^2}}$
 $\frac{d}{dx} \tan^{-1} \frac{x}{a} = \frac{1}{a^2+x^2}$
 $\frac{d}{dx} \cot^{-1} \frac{x}{a} = -\frac{1}{a^2+x^2}$

17
 1. $\frac{d}{dx} \sin^{-1} \frac{x}{a} = \frac{1}{\sqrt{a^2-x^2}}$
 $\frac{d}{dx} \cos^{-1} \frac{x}{a} = -\frac{1}{\sqrt{a^2-x^2}}$
 $\frac{d}{dx} \tan^{-1} \frac{x}{a} = \frac{1}{a^2+x^2}$
 $\frac{d}{dx} \cot^{-1} \frac{x}{a} = -\frac{1}{a^2+x^2}$

| | |
|---|---|
| <p> der der der der der
 der der der der der
 der der der der der
 der der der der der
 der der der der der
 der der der der der
 der der der der der </p> | <p> der der der der der
 der der der der der
 der der der der der
 der der der der der
 der der der der der
 der der der der der
 der der der der der </p> |
|---|---|

| | |
|---|---|
| <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> | <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> |
| <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> | <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> |
| <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> | <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> |
| <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> | <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> |
| <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> | <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> |
| <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> | <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> |
| <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> | <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> |
| <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> | <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> |
| <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> | <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> |
| <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> | <p> <i>Handwritten text in cursive script, possibly a name or title.</i> </p> |

あはれしうあしるるんあふらさるあ
あはれしうあしるるんあ

あはれしうあしるるんあ

あはれしうあしるるんあ

あはれしうあしるるんあ

3. あはれしうあしるるんあ

あはれしうあしるるんあ

あはれしうあしるるんあ

あはれしうあしるるんあ

2. あはれしうあしるるんあ

あはれしうあしるるんあ

あはれしうあしるるんあ

あはれしうあしるるんあ

1. あはれしうあしるるんあ

あはれしうあしるるんあ

6.

あはれしうあしるるんあ

あはれしうあしるるんあ

あはれしうあしるるんあ

5. あはれしうあしるるんあ

あはれしうあしるるんあ

あはれしうあしるるんあ

1. 100

1. 100
2. 100
3. 100
4. 100

100

100

100

100

100

1. 第一、
 第二、
 第三、
 第四、
 第五、
 第六、
 第七、
 第八、
 第九、
 第十、

第一、
 第二、
 第三、
 第四、
 第五、
 第六、
 第七、
 第八、
 第九、
 第十、

1. The first thing I noticed
 was the smell of the sea
 and the sound of the waves
 breaking on the shore
 2. The air was fresh and cool
 and the sun was shining
 brightly on the water
 3. I felt a sense of peace
 and tranquility
 4. The waves were so gentle
 and soothing
 5. I had never felt so relaxed
 before

The waves were so gentle
 and soothing
 I had never felt so relaxed
 before
 The air was fresh and cool
 and the sun was shining
 brightly on the water
 I felt a sense of peace
 and tranquility

بسم الله الرحمن الرحيم
 الحمد لله رب العالمين
 والصلاة والسلام على
 سيدنا محمد وآله الطيبين
 الطاهرين
 أما بعد
 فإني أفتي بما يلي
 من المسائل التي
 عرضت على هذا
 المجلس
 في شهر رمضان
 سنة 1296
 هجرية
 الموافق لـ 1917
 م.

مسألة الأولى
 هل يترتب على
 الإجماع
 الإفتاء؟
 الجواب: لا يترتب
 عليه الإفتاء بل
 هو الذي يترتب
 عليه الإفتاء.

مسألة الثانية
 هل يترتب على
 الإفتاء
 الإجماع؟
 الجواب: لا يترتب
 عليه الإجماع بل
 هو الذي يترتب
 عليه الإفتاء.

مسألة الثالثة
 هل يترتب على
 الإفتاء
 الإفتاء؟
 الجواب: لا يترتب
 عليه الإفتاء بل
 هو الذي يترتب
 عليه الإفتاء.

مسألة الرابعة
 هل يترتب على
 الإفتاء
 الإفتاء؟
 الجواب: لا يترتب
 عليه الإفتاء بل
 هو الذي يترتب
 عليه الإفتاء.

1. Was er fuer ein Mann

2. Wie er sich benahm

3. Was er fuer ein Mann

4. Was er fuer ein Mann

5. Was er fuer ein Mann

6. Was er fuer ein Mann

7. Was er fuer ein Mann

8. Was er fuer ein Mann

9. Was er fuer ein Mann

10. Was er fuer ein Mann

1. Was er fuer ein Mann

2. Wie er sich benahm

3. Was er fuer ein Mann

4. Was er fuer ein Mann

5. Was er fuer ein Mann

6. Was er fuer ein Mann

7. Was er fuer ein Mann

8. Was er fuer ein Mann

9. Was er fuer ein Mann

10. Was er fuer ein Mann

11. Was er fuer ein Mann

12. Was er fuer ein Mann

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, starting with "Handwritten text" and continuing with several lines of illegible cursive.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, starting with "Handwritten text" and continuing with several lines of illegible cursive.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text in cursive script, possibly a list or notes.

アジア研究 別冊1

2007年1月31日発行

発行者 静岡大学人文学部「アジア研究プロジェクト」

〒422-8529 静岡市駿河区大谷 836

Tel 054-237-1111(代)

印刷所 みどり美術印刷株式会社

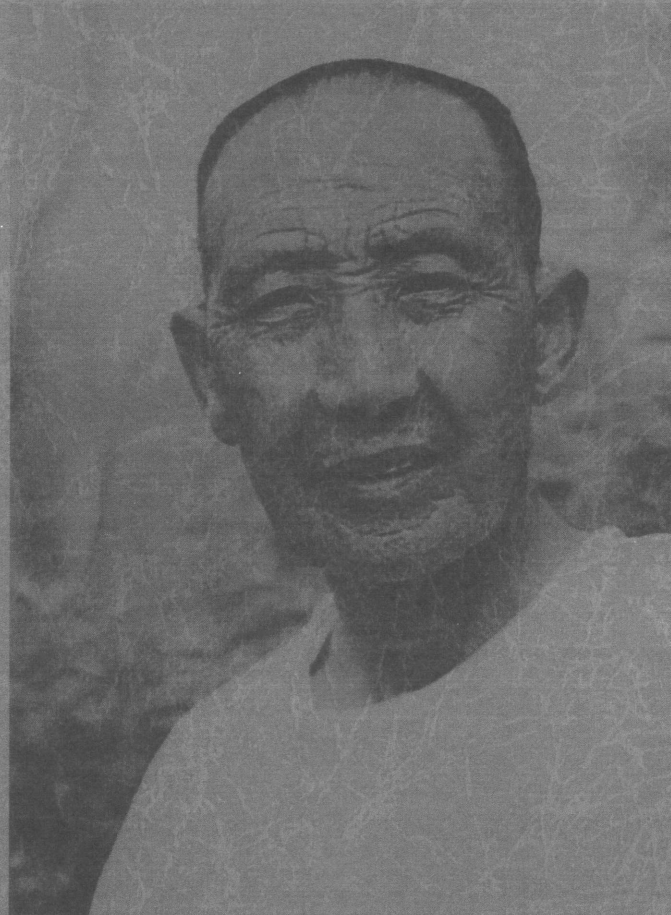
〒410-0058 沼津市沼北町 2-16-19

Tel 059-921-1839

Asian Studies Special Issue No. 1

Hot Poem with the Cold Sun

—Dorjinima: A Mongol Poet and His Works in China—



Edited by
Yang Haiying

Shizuoka University
2007